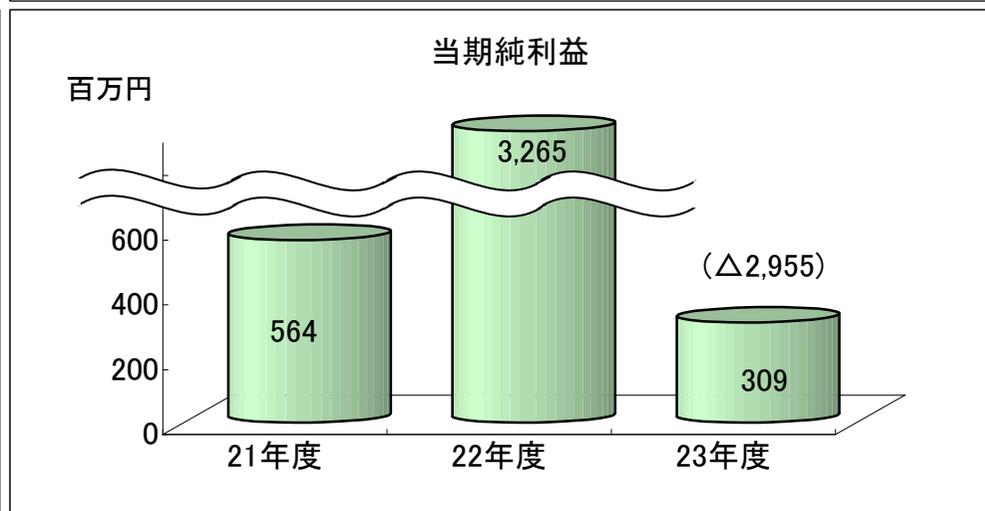
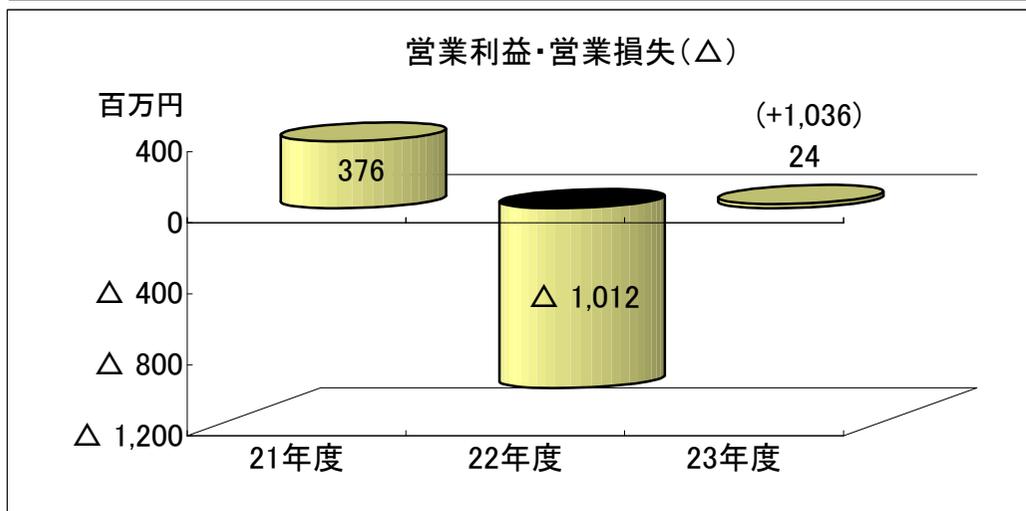
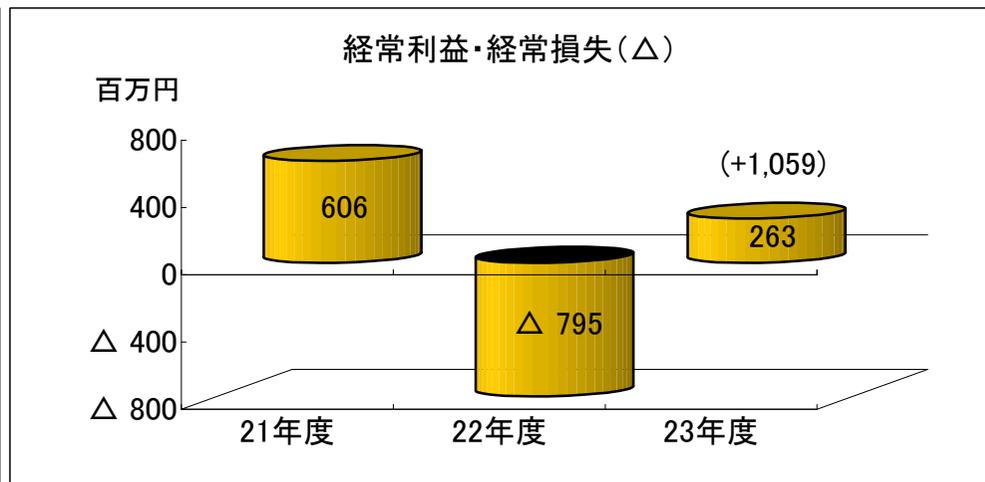
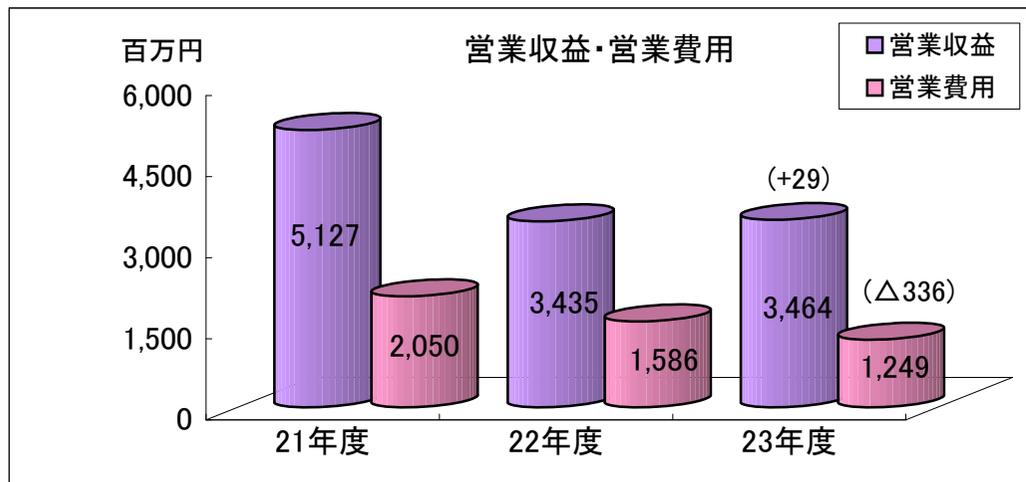


# 平成23年度決算の概要

## (1) 収支状況

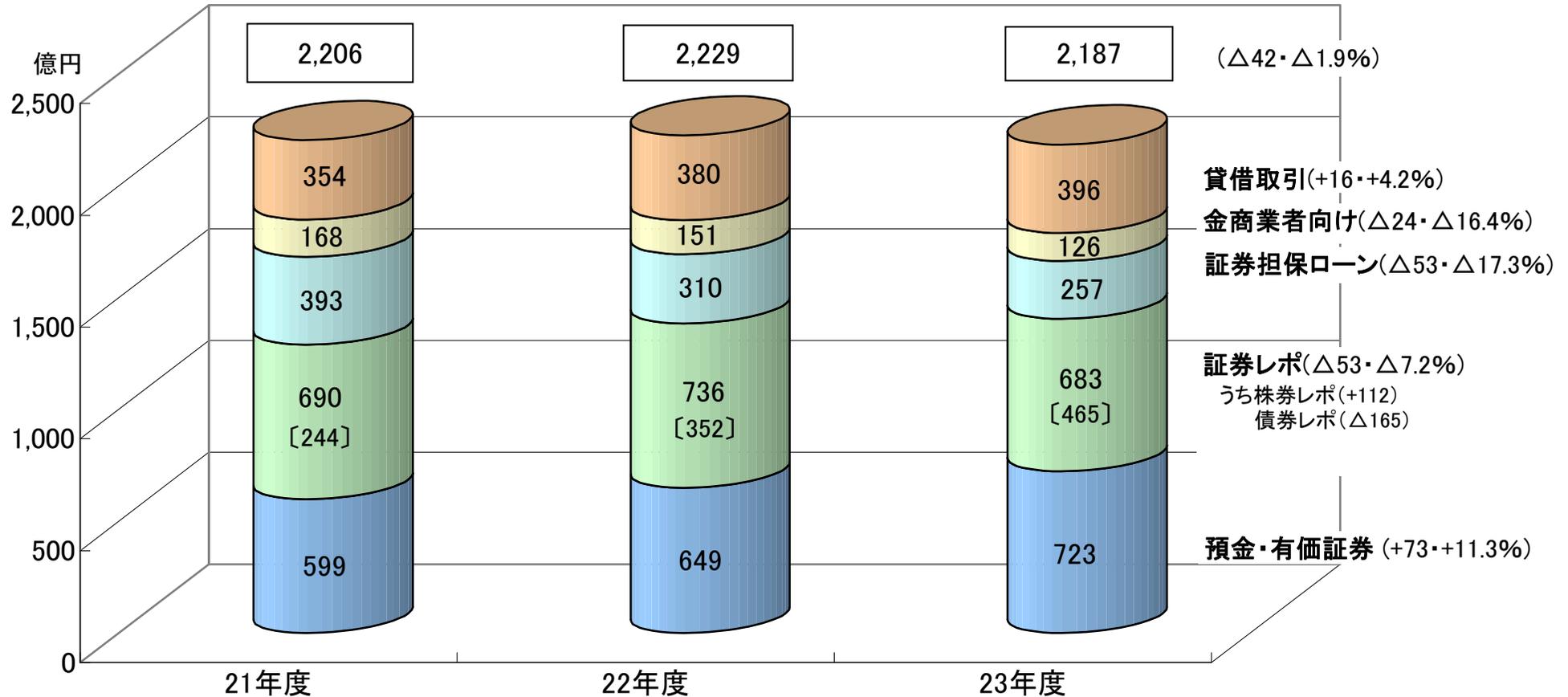
☆営業収益の増収に加えて借入金支払利息などの営業費用や一般管理費の減少から、営業・経常損益ともに10億円強の改善となり、いずれも黒字転換。  
 当期純損益は、前期特別利益に計上した特殊要因(リーマン・ブラザーズ証券に対する再生債権にかかる弁済額および譲渡益(合計4,786百万円))の剥落から前期比では大幅減益となったものの引続き相応の黒字を維持。



(注) ( )内は前年同期比較。

## (2) 資金運用残高

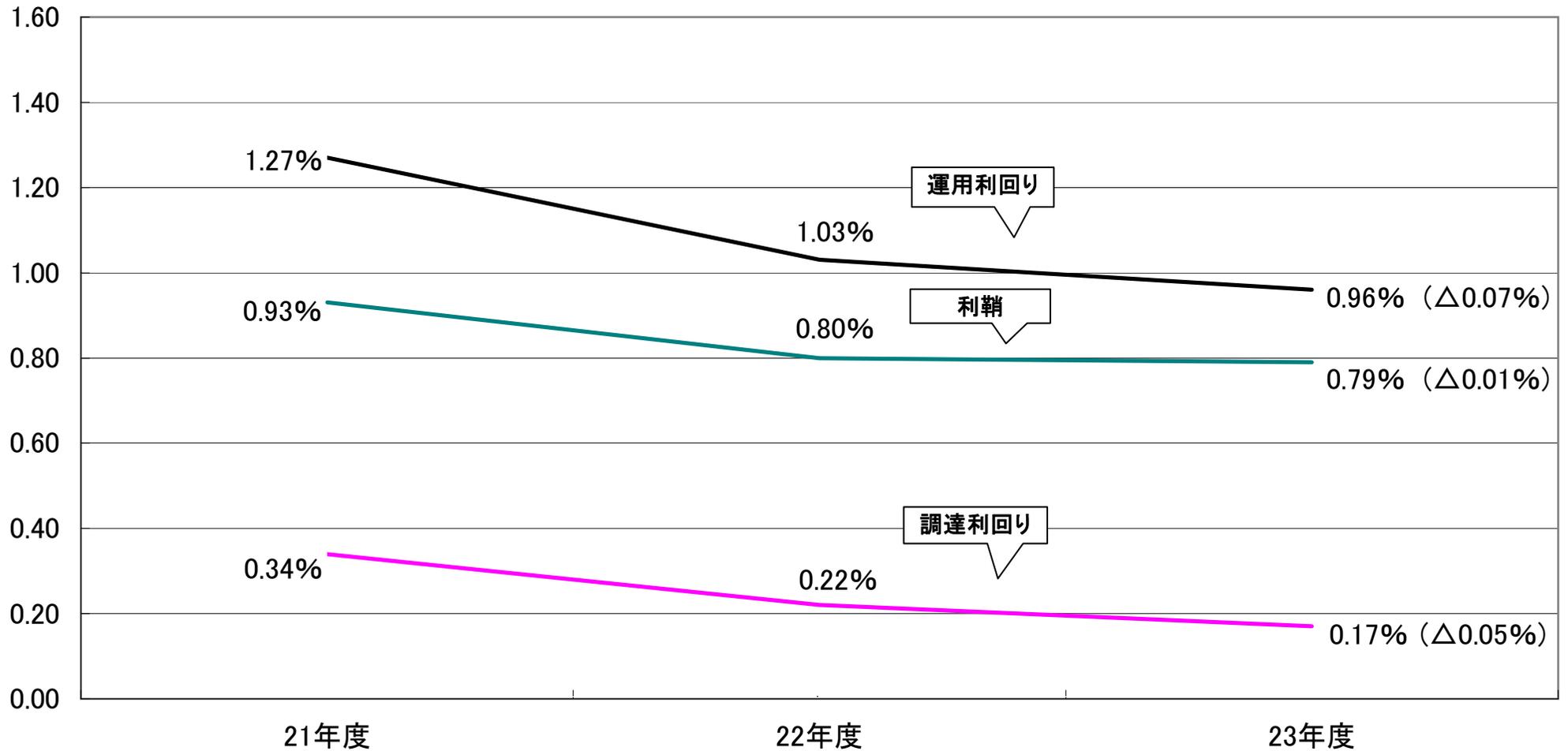
☆貸借取引、有価証券運用が増加した一方で、証券担保ローンや証券レポが減少したことから、運用残高は若干減少。



- (注) 1 残高は平均残高、( )内は前年同期比較。  
 2 証券レポの[ ]は、株券レポ取引の平均残高を内書きで表示しております。  
 3 貸借取引残高には、「貸借取引借入有価証券代り金」残高を含んでおります。

### (3) 運用・調達利回り、利鞘

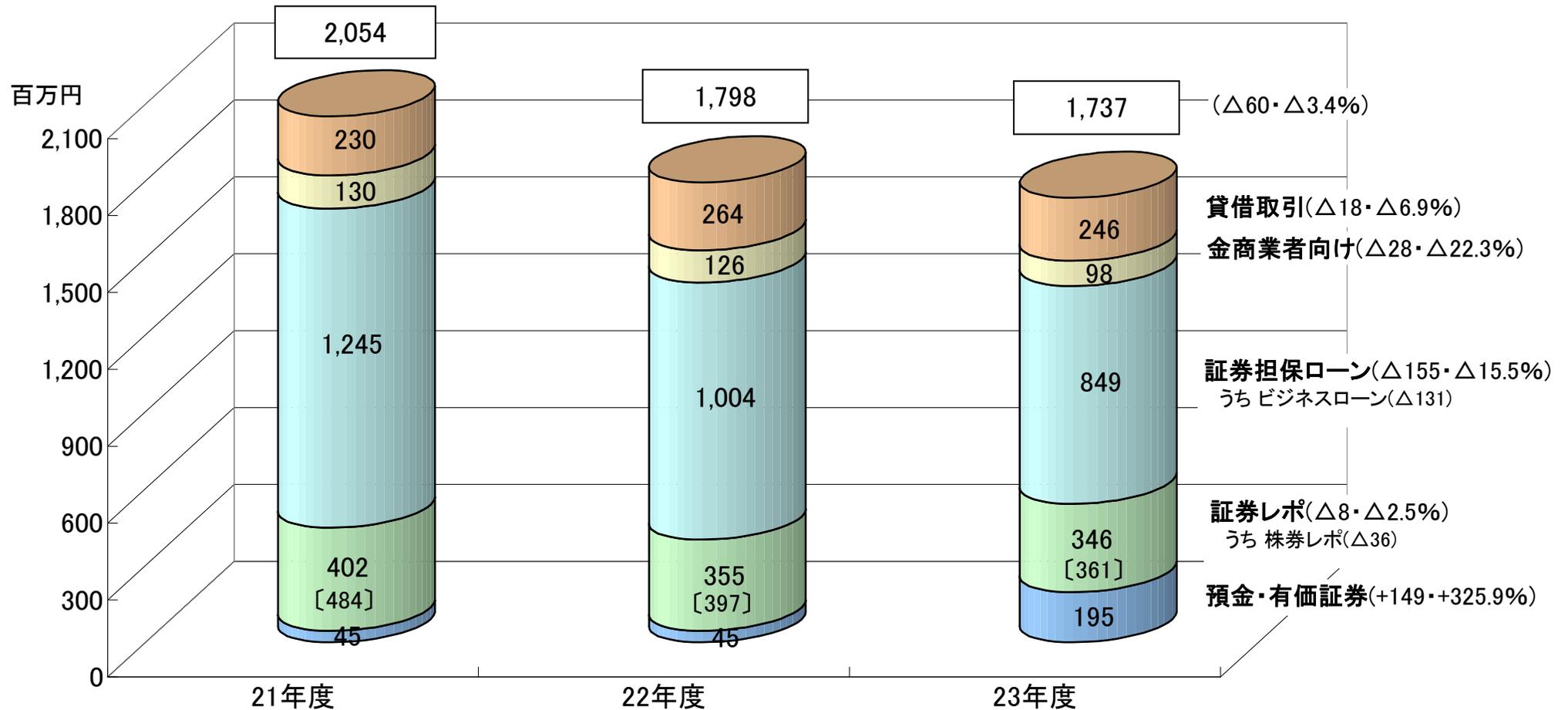
☆証券担保ローン残高の減少などにより運用利回りが低下したものの、  
資金調達構成の見直しなどにより調達利回りが一段と低下したことから、利鞘はほぼ横這い。



(注) ( )内は前年同期比較。

## (4) 利鞘収入

☆有価証券運用収入が増加した一方、証券担保ローンの利鞘収入が減少したことなどから全体では小幅減収。



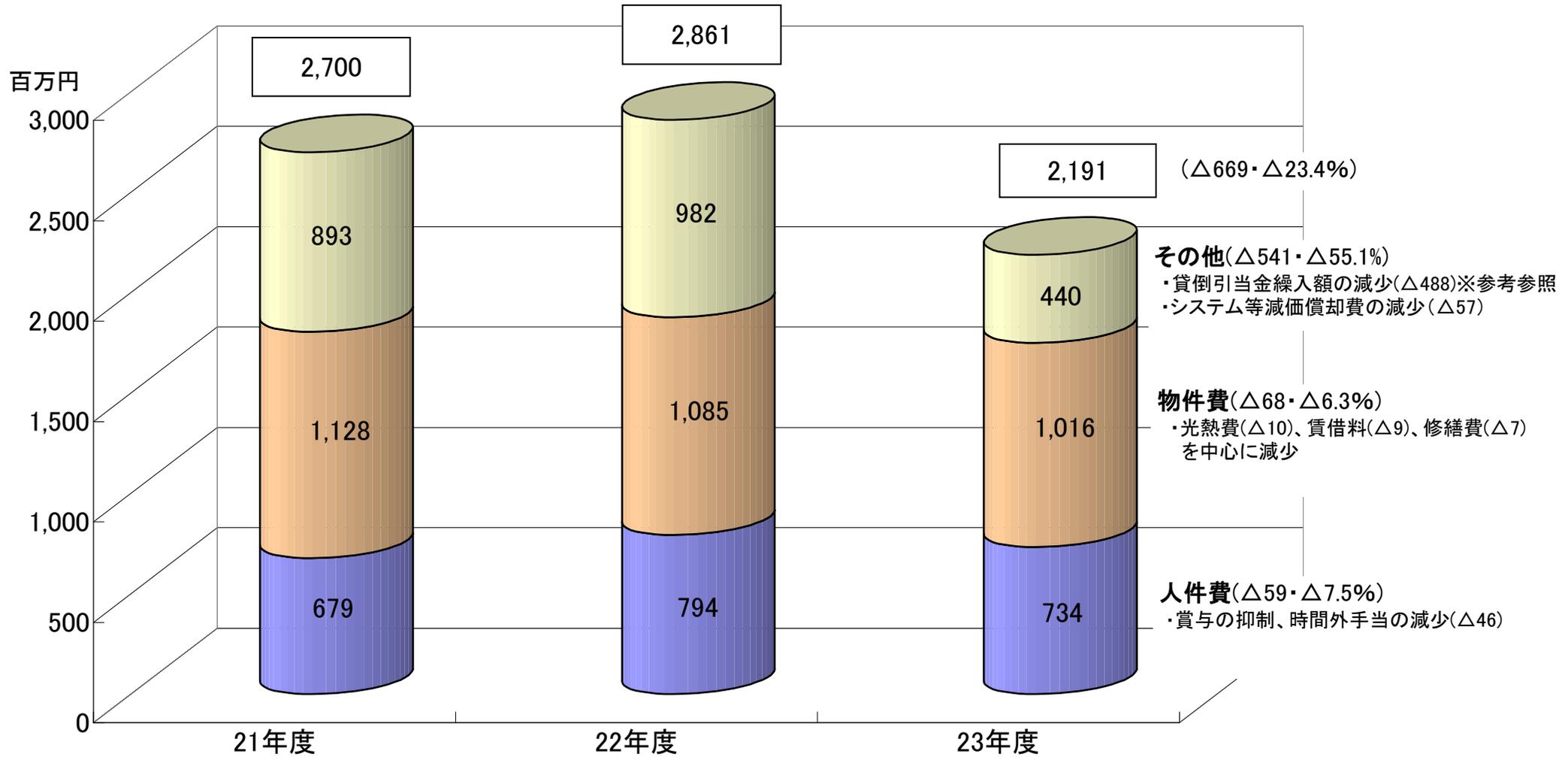
(注) 1 ( )内は前年同期比較。

2 証券レポの[ ]は、株券レポ取引の利鞘収入を内書で表示しております。

3 貸借取引の利鞘収入は、「貸借取引借入有価証券代り金」の利鞘収入を含んでおります。

## (5) 一般管理費

☆証券担保ローンにかかる貸倒引当金繰入額の減少や各般に亘る経費節減効果を映じ減少。



(注) ( )内は前年同期比較。

[参考]貸倒引当金繰入額の減少(△488)の内訳

- ・個別貸倒引当金 △469(平成22年度末における前広な引当対応の反射効果)
- ・一般貸倒引当金 △18(ビジネスローン新規不良化の落ち着きに伴う貸倒実績率の低下)

## (6) 経営指標の状況

### ① 格付け

資産の健全性、リスク管理態勢が評価され、格付け維持。

格付機関	公表日	長期	短期(国内CP格付)
R&I (株)格付投資情報センター	平成23年9月21日	A- (安定的)	a-1
JCR (株)日本格付研究所	平成23年4月12日	A- (安定的)	J-1

### ② 自己資本規制比率／自己資本比率

自己資本規制比率は一般的に健全性の目安とされる200%を大きく上回る水準を維持。

	平成24年3月末	参考
自己資本規制比率 (金融商品取引法基準)	436.3%	金融商品取引業者平均 583.1%(平成23年12月末現在)
自己資本比率 (BIS基準)	27.1%	・国際統一基準行平均 15.7%(平成23年9月末現在) ・国内基準行平均 11.7%(平成23年9月末現在)

## (7)平成24年度 業績予想

(単位:百万円、%)

	平成23年度 通期実績	平成24年度予想		対前年度比(通期)	
		第2四半期累計期間	通期	増減額	増減率
営業収益	3,464	1,750	3,750	285	8.2
営業利益	24	△ 50	250	225	937.5
経常利益	263	50	450	186	71.0
当期純利益	309	50	450	140	45.3